

見附町

見附台公園

崇善公民館

平塚市民センター

見附台緑地

市営錦町駐車場

市営見附町駐車場

江戸見附緑地

ひらつか市民プラザ
市営紅谷町駐車場

(2) Bブロック ボーリングデータ

(1) 紅谷町駐車場地質調査

その他のボーリングデータ等については、
『かながわ地質情報MAP』を参照してください。
<http://www.kanagawa-boring.jp/>

(1)紅谷町駐車場地質調査

紅谷町立体駐車場新築工事(地質調査)委託

報 告 書

昭和56年1月

平 塚 市 建 設 部



ま え が き

この報告書は平塚市建設部の御依頼により実施しました「紅谷町立体駐車場新築工事（地質調査）委託」の調査結果をまとめたものであります。

本調査は、神奈川県平塚市紅谷町18の4に計画している立体駐車場の建設工事に先立ち、調査ボーリングを行ない地盤構成を明らかにして、設計、施工の基礎資料を得ることを目的として実施致しました。

ここに本調査を実施するに際し御高配を賜りました関係各位に対し深謝の意を表します。

昭和56年 1 月



1. 調査概要

1.1 一般事項

- (1) 発注者 平塚市建設部
- (2) 調査名 紅谷町立体駐車場新築工事(地質調査)委託
- (3) 調査地 神奈川県平塚市紅谷町18の4
- (4) 調査期間 自 昭和55年12月15日
至 昭和56年 1月26日
- (5) 調査内容 ○ 機械ボーリング
及び数量 ○ 標準貫入試験

表-1 実施数量表

No.	A	B	C	D	E	合計
掘進長 (m)	30	50	30	30	30	170
標準貫入 試験(回)	30	50	30	30	30	170

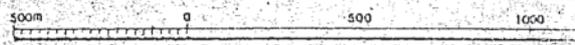
(6) 調査者





調査位置案内図

1:25,000



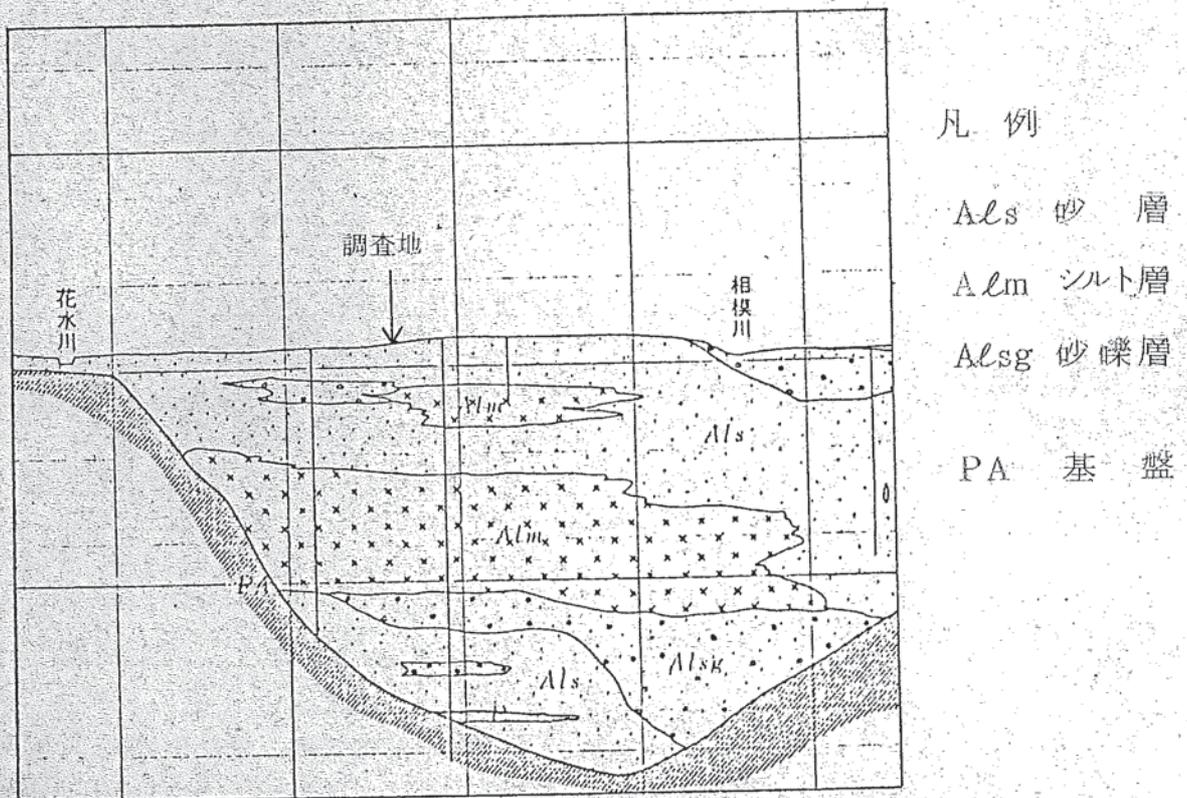
2. 地盤構成

2.1 調査地の地盤概要

調査地は東海道本線平塚駅の西北約0.35Kmに在り、相模湾沿岸の砂州・砂丘地帯に区分される海拔標高5~10mの沖積低地面に位置している。

図-2.1は平塚駅を横断する東西方向の地質横断面図であるが、調査地の地質は、第四紀更新世の相模層群を基盤として砂質土層、粘性土層および礫層から成る完新世の沖積層が厚く覆っていると考えられている。

図-2.1 調査地付近の地質 S : $V = 1 / 2,000$
 $H = 1 / 50,000$



資料(神奈川県地盤地質調査報告書-神奈川県)

2.2 調査地の地盤構成および性状

調査ボーリングの結果から、調査地の地盤構成は巻末の「推定土層断面図」が示す通りである。以下に各層の性状を簡単に述べる。

(1) 表土層 (Fs)

当層はロームを主体とする層である。埋土によるものと思われ、 $1.0 \sim 3.0 \text{ mm}$ の円礫を混在している。最上部 $5 \sim 10 \text{ cm}$ はアスファルトコンクリートによって覆われており、アスファルト厚も合わせて $0.7 \sim 2.5 \text{ m}$ の層厚である。N値は $N = 4 \sim 5$ である。色調は褐灰色を呈している。

(2) 砂層 (S)

当層は暗褐～暗灰色を呈する砂層である。当敷地においては、 $GL - 5.0 \text{ m}$ 迄を構成する土層の大半を占めていると考えられる。砂の粒径は不均一で、細砂を主体として中砂、粗砂から成っている。所々に貝殻片、有機物を混在しており、また粘性土を含む所、薄層で挟在する所も見られる。当層の上部に後で述べる砂礫層が介在している他に、所々に $3 \sim 20 \text{ mm}$ の礫が点在している。

N値は、上部 3.4 m 迄については $N = 6 \sim 47$ の範囲で大きくばらついているが、下部に従い密になる傾向がある。

$GL - 4.5 \text{ m}$ 以深については、 $GL - 3.0 \text{ m}$ 前後の深さで若干小